

令和3年度（補正予算）

関係人口創出・拡大のための対流促進事業 （中間支援組織の提案型モデル事業）

事業の実施結果 （概要）

団体名	特定非営利活動法人おっちらボ
事業名	森あそび（森林空間活用）市場づくりに向けた関係人口構築事業

- 「森あそび」をテーマに、ピッチ & プレインストーミングをオンラインで開催する「森あそびBeyondミーティング」や、山主、プレイヤー、行政、中間支援組織、民間企業等が混ざり、オープンな議論を行う「地域別戦略会議」を実施した。
- 各地域のプレイヤーや自治体関係者のほか、森遊びに関心を持つ企業、大学生、他地域のプレイヤー、プロボノ人材等が幅広く参加し、商品・サービスの開発や連携協働に向けた議論が活発に行われ、地域における森林空間活用に関する具体的なアイデアの創出と実現への第一歩につながった。

主な活動内容

1. Beyondミーティング（オンライン開催）

- 9月23日：登壇AO4名、参加者41名
- 1月24日：登壇AO4名、参加者24名

2. 地域別戦略会議

- 7月29～30日：岡山県西栗倉村、参加者22名
- 10月6日：北海道厚真町、参加者のべ47名
- 12月16～17日：島根県雲南市、参加者11名
- 2月18日：島根県雲南市、参加者6名

3. 先進地視察

- 9月5～7日：長野県白馬村、参加者9名
- 11月3～5日：岐阜県郡上市、参加者12名

4. オンライン勉強会

- 8月24日：白馬事前勉強会、参加者11名
- 10月18日：郡上事前勉強会、参加者8名
- 12月 8日：雲南事後勉強会 参加者8名
- 12月14日：雲南事後勉強会 参加者8名

主な成果

1. 参加者や地域の声

- （Beyondミーティング）山が好きという人が集まっているため、「今度一緒にやろう」という連携協働の話につながりやすかった。
- （地域別戦略会議）学びながら環境に飛び込むこともできる。感度の高いアーリーアダプターやアッパーミドル層との接点を、皆さんと一緒に仕掛けられたらいいなと思った。
- （先進地視察）森や自然が刺さる人は世界中にいる。我々の場合は誰に声をかけるか考える必要がある。
- （オンライン勉強会）勉強会を経て視察参加を決めた。

2. 事業を通じて得られた気づきや知見

- 「森あそび」と銘打つことによって林業だけではなく教育、食、工芸など、さまざまな分野に関心ある人が混ざり合う機会をつくることができた。
- 森あそびにおいても、各コンテンツへの参加者が、自然とSNS等での発信者に回りたくなる魅力づくりが必要であると感じた。



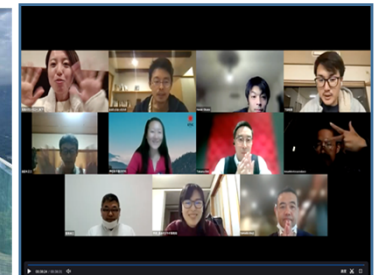
2022年9月23日開催のBeyondミーティング：アジェンダオーナーとプレストテーマ



地域別戦略会議

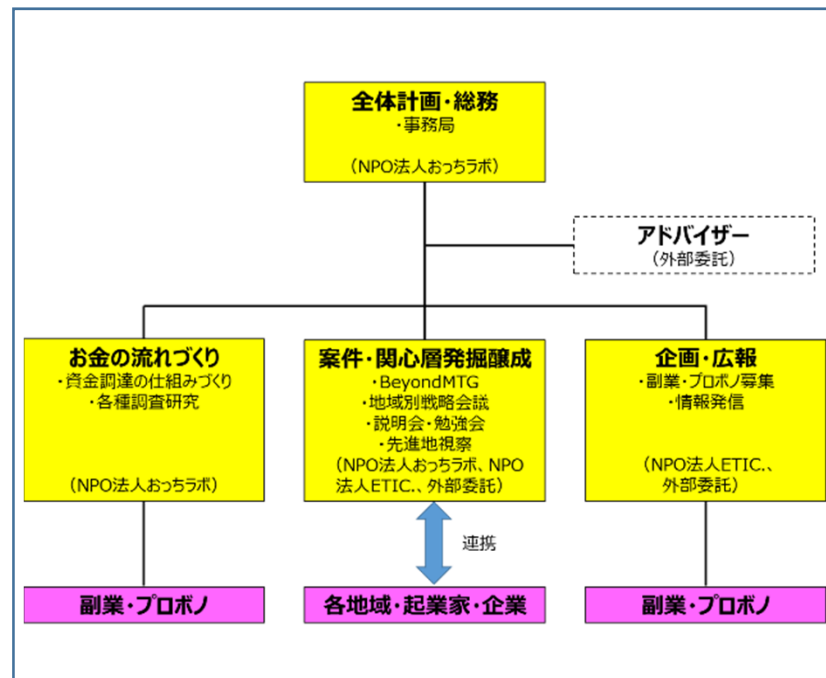


先進地視察



オンライン勉強会

事業実施体制・関係機関



団体名	役割
特定非営利活動法人おっちらボ	全体計画や、総務及び副業・プロボノ人材外部人材とチームを組成し、お金の流れづくりおよび案件・関心層発掘醸成にかかる業務を推進
特定非営利活動法人ETIC.	全体計画、人材募集、情報発信支援を実施
北海道厚真町 岡山県西粟倉村 愛媛県久万高原町 島根県雲南市	各地域における地域別戦略会議を地元企業、起業家等と協働して運営し、将来的な自立、自走に向けた支援と各地域におけるコンテンツの企画・調整を実施
地元企業、起業家等	Beyondミーティング、地域別戦略会議等への参加を通じて、自社のリソース等を適宜活用しながら、具体的なコンテンツの企画、立案を補助

グリーン分野に関する取組状況

- 勉強会、Beyondミーティング、地域別戦略会議において、各地域の取組発表や有識者等の講話の機会等を設定し、各地域、各企業が丸となって森林の整備・保全や、それによってもたらされる低炭素社会の実現に向けた意識の醸成が可能となったほか、企業の投資やSDGsに関心のある一般市民の参画等も一定程度行われ、関係人口の創出、拡大に資する展開への第一歩へとつながった。
- 副業・プロボノ人材を活用し、資金調達手法に関する調査研究を行い、カーボンオフセットやESG投資等に関する先進的な取り組みを実施している各自治体、企業にヒアリングを行うとともに、活動に対して理解、共感を得られそうな企業に関わり方に関する各種提案（社員による森林整備、顧客との協業イベント、社員の研修の場としての活用、社員の健康増進、資金提供による森林整備等）を行い、報告書を作成した。



プロボノ人材とのオンライン打合せ模様

次年度以降の事業展開

- 令和5年度以降は、各地域が以下をゴールとして自立・自走できるように、伴走支援を行う。
 - 各企業：関係人口として、各地域のまちづくりにおいてキープレイヤー（連携・協働の結節点）となる。
 - 各プレイヤー：各地域において森あそびサービス・コンテンツを企画、運営、提供し、インフラを含めた変化の好循環となる。
 - 参加者：森あそびへのリピーター以外に、ふるさと納税、バーチャル市民、プレイヤーとしての参画など、関係人口としての関わりを深化させる。
- 各地域においては、本事業で得た知見、ノウハウを活かし、必要に応じて各地域戦略会議や勉強会の企画・運営を行うほか、具体的な森あそびサービス・コンテンツの企画、運営、提供に係るアドバイザー（外部アドバイザーの活用、企業とのマッチング、インバウンド需要の掘り起こし等）の実施や、新たな地域・企業の参画支援等を行い、参画自治体数、企業数及び企業による寄付額等の増加を図り、更なる関係人口の創出、拡大へつなげていく。
- NPO法人おっちらポについては、引続き雲南市における企画、運営、フィールド整備等を行うとともに、必要に応じて各地域へのアドバイザーを行う。

【令和5年度以降の収支計画】

費目		R5	R6	R7
支出	人件費	1,960,000円	1,960,000円	1,960,000円
	旅費	1,000,000円	1,000,000円	1,000,000円
	諸謝金・委託費・広報費	1,850,000円	1,850,000円	1,850,000円
	会議費・通信運搬費・諸経費	190,000円	190,000円	190,000円
収入	基金運営手数料（ふるさと納税等）	0円	5,000,000円	10,000,000円
	会費収入	300,000円	500,000円	700,000円
	各企業の寄付	1,000,000円	1,000,000円	1,000,000円
損益（収入－支出）		▲3,708,000円	1,492,000円	6,692,000円

※各地域における事業展開を想定した試算

事業スケジュール

事業内容	2023年度 上期	下期	2024年度 上期	下期	2025年度 上期	下期	2026年度以降
(例) 各地域共通							
オンライン勉強会・Beyondミーティング (適宜開催)	→						
地域別戦略会議（現地） (年2回程度開催)	岡山県西栗倉村	愛媛県久万高原町	北海道厚真町	島根県雲南市	新規参画自治体	新規参画自治体	新規参画自治体
先進地視察 (適宜開催)	→						
持続可能なスキーム・体制整備	→						
新規参画自治体、起業・団体等の巻き込み		→					
プレイヤーの募集			→				
具体的な事業展開						→	
情報発信	→						
等							

自立・自走化にあたっての課題

- 各地域における事業の進捗状況、プレイヤーの参画状況等に差異があり、必ずしも速やかな自立・自走化が行われない可能性があるため、この点はETIC.が実施するローカルベンチャー協議会の活動等とも適宜タイアップしながら、必要な助言や人材の紹介等を行う。
- 森林空間の活用には、地権者や森林組合等の同意が必要な場合が多く、それらとの調整が難航する可能性が想定されるため、早期に地域を巻き込んだ体制整備が必要である。
- マネタイズの仕組みについて、カーボンオフセットやESG投資等に取り組む企業の先進事例を調査したが、変化の激しい分野であり、Jクレジット等の最新の動向の調査研究を引続き行う必要がある。